第１６号　2014 年 7 月 17 日発行
五ケ瀬川の畳堤を守る会

昨年を振り返ってみますと、大変忙しい一年であったと思っています。

天候にも恵まれた春と秋のピクニックは五ヶ瀬川沿いを隔流堤先端まで、汗を流しゴミや空き缶等を拾いながらのウォーク、気分爽快で終わった後の弁当の味は絶品でした。

さらに、延岡市まちづくり支援事業の補助金で実施した「映像などによる五ヶ瀬川防災コミュニティ啓発促進事業」は二年目の継続が認められました。

そこで、昨年制作した畳堤ＤＶＤの映像を五〇型大型テレビと音声機をリースし、市民団体や防災関連団体、小中学校等、年間三十三回、延べ人数千三百五十人を超す方々に出前講座を行いました。

また、十一月四日の市政施行八十周年記念の花火大会の日、会員は、市内外からのお客さんに日本に三カ所しか残っていない重要土木遺産の畳堤をＰＲしようと考え、七百個のペットボトルキャンドルを畳堤に並べ、灯をともす「かわまちあかり」を市民ボランティアの皆様と一緒にいたしました。

紺屋町側は何とかロウソクに灯を点すことができ、美しい川面を映し出しましたが、残念ながら船倉町側は強風にあおられ灯を点すことができませんでした。

７月２日、ＮＨＫのテレビ番組で畳堤のことが詳しく紹介されました。写真は前日行われた収録風景です。中央は、大勢のスタッフに囲まれながら打ち合わせをする木原会長

出前授業や、かわまちあかりで積極ＰＲ

しかし、畳堤周辺は市民ボランティアの方々の幾度もの草取りに助けられ、雑草や廃棄物が無くなり美しく清掃されました。畳堤がきっと喜んでいると思っています。市民ボランティアの皆様に感謝しています。

さらに十一月の防災フェスタでは、畳堤の模型や写真、大型モニターによるＤＶＤの放映等を実施しました。「ひかり工房」による畳堤サブレの販売もあり、多くの子どもたちの参加で賑わいました。

今年の三月には、延岡から宮崎までの高速道路がつながり、約一時間で宮崎に行けるようになりました。延岡市が通過都市にならないため、多くの人をひきつける魅力ある地域づくりが喫緊の課題であるとのことで、「延岡花物語～このはなウォーク」が開催されました。

桜と菜の花をメインに物産市、陶器市、郷土芸能、九州チェンソーアート大会等が催され、三日間で約三万五千人の方々が参加し大成功をおさめました。

二〇二〇年には東京オリンピックが開催されます。一九六四年のオリンピックは、私が市役所に入った年でした。一緒に入庁した同僚が聖火乙女となり市役所玄関前の廂の上に設けられた聖火台に聖火を運びました。振袖姿の彼女がとても可愛いかったことを思い出します。その後、経済は高度成長期を迎えましたので、今回もデフレから上向きになるのではないかと期待しているところです。

今年も様々なことに取り組んでいきたいと思っています。皆様のご支援ご協力がなくては実施することができません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長　木原　万里子

注目の工事が始まります

畳堤を移設

老朽化対策で

国交省延岡河川国道事務所は、畳堤のある五ケ瀬川右岸堤防の拡幅を計画しています。老朽化した堤防を補強するとともに、水防活動の車が堤防の上を通れるようにすることが主な目的です。歴史的価値のある畳堤は、全体的に一・五メートルずつ川側に移動させるとのことで、当会にとっても大注目の工事になりそうです。

増水の恐れがある台風の時期には工事ができないため十一月に着工し、今年度は、板田橋から須崎町まで約三百三十メートル間を工事するそうです。

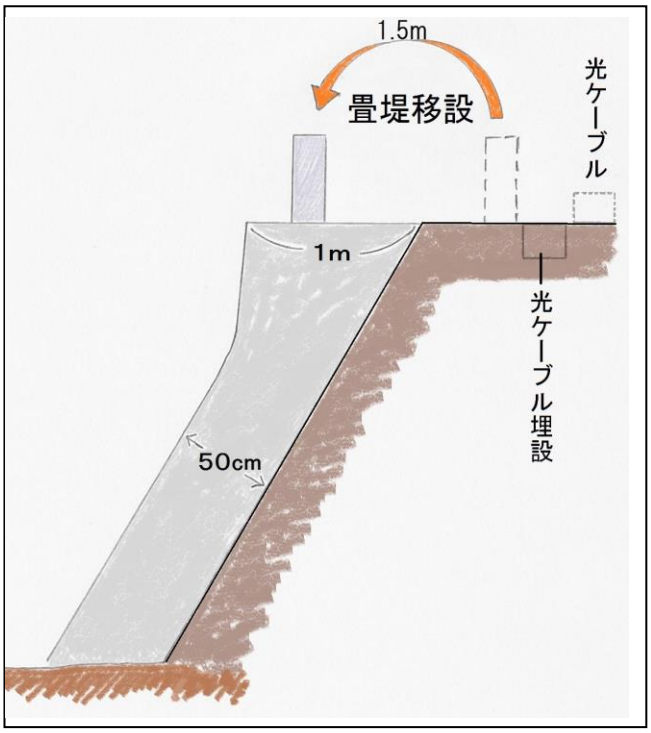
現在の堤防の上部は二・五メートルほどの幅ですが、中央近くに畳堤があり、転落防止のフェンスや光ケーブルの情報ボックスが設置されている区間もあるため、平らな部分は、一人がやっと通れるほどの幅しかありません。

畳堤の清掃の際、私たち会員はここを通って作業しますが、通りやすくはありません。国交省は、台風の時などに堤防に異状がないか確認するのも難しいそうです。

計画によると、堤防の厚みを五十センチ増し、上部は川側に一メートル張り出させて、畳堤を川側の端に移設し、情報ボックスを埋設することで、平らな部分が三メートル幅になります。また、堤防ののり面は、畳堤の外観とマッチするように検討するそうです。

「全国的にも貴重な国内最古の畳堤の存在を発信することで、延岡の観光振興に役立てたい」という当会の希望も十分理解していただいています。

国交省はこの工事の具体的な内容を検討するために、学識経験者、関係地区の住民代表、観光や防災の関係者を交えた「畳堤プロジェクトチーム」を発足させる準備を進めています（七月十日現在）。当会からも木原会長、芝弘光副会長、岡田光直・渉外担当役員（北町在住）がメンバーに選ばれ、協議に参加させていただくことになっています。



水防車が通れる堤防に

花物語プラスワンで畳堤を紹介

高速道路の開通を延岡の観光振興につなげようと、二月十四～十六日に「延岡花物語このはなウオーク」が、松山町から本小路までの五ケ瀬川周辺で開かれました。

ほぼ同じ時期に咲く五ケ瀬川沿いの「天下一ひむか桜」（河津桜）と菜の花、本東寺の慧日梅（えにちばい）、城山のヤブツバキを結んで、延岡の早春の観光コースとしてＰＲすることが主目的でした。

会場に来られたお客様に、年間を通じて楽しめる観光スポットやほかの季節の見所も紹介しようということで「プラスワン部会」が設けられ、当会はこ

「畳堤かわまちあかり」に初挑戦

延岡花火とコラボ

当会は昨年十一月四日、延岡市の市制施行八十周年記念「延岡花火２０１３」に合わせて「畳堤かわまちあかり」を行いました。

花火会場までの行き帰りに街をそぞろ歩く人たちに畳堤をＰＲしようという趣旨で、五ケ瀬橋を挟んで上流側と下流側の両岸にある畳堤に、ペットボトルキャンドルを並べて点火しました。

残念ながら右岸（船倉町側）は風でことごとく火が消えてしまい、左岸だけになってしまいましたが、花火とコラボレーションしました（**写真左上**）。

実施にあたっては「キャンドルがきれいでも畳堤が汚くてはいけない」ということで、八月二十五日、十月二十日、同二十七日の三回にわたり、周辺の草抜きやごみ拾いを行いました。

畳堤の土台には、上から差し込んだ畳を固定するための溝があるので、そこに土がたまって雑草が生えます。雑草は長年の月日のうちに強く根を張り、盛大に繁殖しており、会員の手に負えるものではありませんでした。延岡市ボランティア協会にお願いして、「県下一斉ボランティアの日」（八月二十五日）の活動場所の一つにしていただき、多くの一般ボランティアのご協力で実現できました。

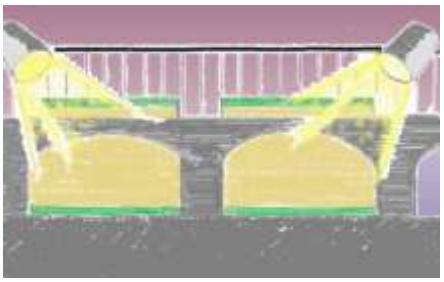
ゴボウのような太い根が、コンクリートの割れ目に入り込んだ場所もあり、会員だけではすぐに気持ちが萎えてしまっていたことでしょう。

一度しっかり除草したおかげで、その後の除草作業が楽になりました。十月二十日は「秋の畳堤ピクニック」を兼ねて会員で行いました（**写真上**）。「かわまちあかり」直前の同二十七日には、「天下一五ケ瀬川かわまち創ろう会」に手伝っていただいて掃除を仕上げました。

の部会に参加。子ども向きの畳堤パンフレット「謎の畳堤」と、畳堤ＤＶＤ紹介のちらしを来場者に配りました。

初日は例年にない寒さで、行縢山に真っ白な雪が積もっているのが見えたほどでしたが、最終日は晴天に恵まれ、多くの人でにぎわいました。

畳堤の再現モデル設置へ　ライトアップも計画



再現モデルのイメージ

延岡市の「平成二十六年度市民まちづくり活動支援事業」に、当会の「映像などによる五ケ瀬川防災コミュニティ啓発促進事業」が採択され、十九万八千円の補助を受けられることが決まりました（予算額二十七万八千八百円）。

支援事業に応募したのは三年目。二十四年度はこの補助金で、畳堤を国内外へ発信する動画とＤＶＤを制作しました。二十五年度は大型モニターを使って、三十三カ所でこのＤＶＤを上映し、普及啓発に努めました。「きれいな映像でよく分かった」「子どもにも分かりやすい」「映像がきれいなので観光資源としても活用できる」などうれしい声が届いています。

今年度は、畳堤を実際に見に来てもらう工夫として「畳堤の再現モデル設置とライトアップ」に取り組みます。

畳堤に畳を入れた展示場所を二カ所設け、太陽光で発電する投光器を設置して、夜でも目立つようにする計画です。

また、動画を活用した啓発活動は、小～高校生や自主防災組織を主な対象として、引き続き行います。守る会役員の〝出前授業〟をご希望の方は、事務局までご連絡ください。動画そのものは、インターネットで、世界のどこからでもご覧いただけます。ユーチューブ「五ケ瀬川　畳堤」で検索してください。

編集後記　国交省から大ニュースが届きました。今後、当会の活動は新たなステージを迎えそうです。詳しくは2面をご覧ください。

８月４日は橋の日

今年も参加します

語呂合わせで「橋の日」の８月４日に、橋や川への感謝を込めた清掃活動が全国各地で行われます。この「橋の日」を提唱したのは、延岡市出身で橋梁関係会社に勤めていた湯浅利彦さん。昭和６１年８月４日に延岡市の安賀多橋で行われたものが、全国で初めての「橋の日」です。「チキン南蛮」が延岡発祥として有名ですが、「橋の日」もそうなのです。

さて、その「橋の日」（第２９回）は今年も８月４日早朝に安賀多橋周辺で行われます。当会も参加します。

一般の方々は同橋周辺のごみ拾い、河川敷の草刈りなどを行いますが、私たちは午前５時３０分に北町の畳堤モニュメント前に集合。畳堤周辺を掃除した後に移動して合流することになっています。

早朝のボランティア活動は気持ちの良いものです。皆さんも参加しませんか。午前７時ごろには解散になります。

昨年の「橋の日」で活動する会員。前日は熱帯夜で、この日午前6時の気温は25・4度。蒸し暑い中頑張りました

五ケ瀬川の畳堤を守る会
事務局　社会福祉法人光紀会ひかり工房内
矢野 光孝
〒８８２－００６３
宮崎県延岡市古川町７４番地１
ＴＥＬ　０９８２－３４－１３８９
ＦＡＸ　０９８２－２３－１６１７